

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」笠岡校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		子どもたちの様子に合わせたスペースで療育を行うようにしている。 支援室と事務スペースが同一空間なことは改善したい。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		教室内は気が散らないようにシンプルな環境を作るようにしている。 トイレに段差が高い、バリアフリー化は難しいため移動式の階段を作成し負担を軽減した。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			利用者の様子や情報共有するようにしている。また、目標設定や振り返りを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施し、結果をもとに計画的に改善していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ブログでの公開は行っているが、他に周知できる有効な手立てを考える必要がある。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			今後必要に応じて実施していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			発達支援研究所からの定期的な研修やブロック内での研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ケース会議を実施し、複数の職員で支援計画の作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			現在使用しているシートを改良していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児発管と担当指導員、必要に応じて他の指導員のアドバイスを得て支援プログラムを立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日々の振り返り等で最近の状況を確認し、支援に反映するなど工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			療育時間に変化はないため課題の設定も基本的に変化はない。しかし、長期休暇期間は相談して内容の確認を行い、支援を実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動につなげる支援計画を作成している。小集団の活動の機会を設定していく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼や療育時間までの間に必要な連携の確認を行っている。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼時に当日の状況報告や翌日の確認を行っている。 短い時間で要点を伝える努力していく必要がある。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援に関する記録を徹底し、振り返りを行っている。 支援の記録の書式を改善していくことを検討していく
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々の振り返りに加え、定期的にモニタリングで支援計画について見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			子どもたちの様子や利用者のニーズに合わせて複数組み合わせ、支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			参加者を事業所内で検討し参加している。 複数人参加できるように調整していく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校公開時の参加や、見学は行えている。 しかし、連携として不十分のところもあるため、連携の機会を設けていきたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者が出た場合、連携していきたい。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			機会を設け実施している。 現状では十分でないため、連携の機会をより設けていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			該当者が出た場合、連携していきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			機会を設け実施している。 現状では十分でないため、連携の機会をより設けていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	機会の設定の有無等検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会の部会に参加している。
保護者への	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の振り返りの中で共通理解が図れるよう努めるようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	相談を受けアドバイスをすることはあるが家族支援プログラムとして明確には行っていないため、開催や方法など協議していきたい。
保護者への	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の振り返りの際やご相談いただいた際に行っている。 また、有益な助言となるよう勉強していく。

説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後開催についても検討していく。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			タイムリーな対応になるように努めている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			現在ブログで周知を行うことが多いが他の方法も検討していく。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			施錠できる場所での管理を行っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			伝達方法の工夫を行っている。
非常時等の対応	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の方が参加できるイベントは実施していないが、地域の方々へのあいさつ回りや地域の活動に参加する形で連携を図っている。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			作成し共有している。しかし、不十分なところはあるので徹底できる方法を検討していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回計画し実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修を定期的に計画し実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事の提供を行っていない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集の作成を行っている。事例を共有し、情報共有に努めていく。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 笠岡校 保護者等数（児童数）： 30 回収数： 24 割合： 80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	4	0	・個室ではないが、それが本人にとって良いのか悪いのかわからない。 ・されています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	4	0	・ばっちりです。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	8	1	・あまりよく見ていないので分かりません。 → 階段の高い段差は気になるため、負担が軽減できる方法を今後も検討していく。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	24	0	0	・そうだと思う。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	21	3	0	・楽しく行っているのでそうだと思います。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	13	8	・ないような…なくてもかまいませんが。 ・学習支援を目的にしているので必要ないと思います。 ・市外だから。でも開校日に交流しています。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	0	0	・毎回丁寧に話をさせていただきます。 ・苦手なところを補ってくれたり、得意なところを伸ばしてくれていると思う。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	2	0	・特にこちらから相談をしていないので。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	12	11	・ないような…なくてもかまいません。 ・特に必要ない。 ・保護者同士の関りはあまりないが、先生と情報交換を密にできており、満足しています。 ・知っているママがいて安心。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	5	0	・苦情ありません。 ・そのようなことがないのでわかりません。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	1	0	

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	8	2	・よくわかりません。 → 周知していただく方法をブログ以外でも検討していく。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	24	0	0	・
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	7	0	・よく覚えてません。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	12	1	・子どもたちと一緒にはないような。 → 教室への掲示のみならず発信方法を検討していく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	22	2	0	・行かないと言わないので、楽しんでいると思います。 ・いつも楽しみにしています。 ・「きらり」だけは楽しみにしている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	23	1	0	・今度ともよろしく願います。 ・こどもの話をよく聞いてくださってありがとうございます。 ・とても満足しています。先生方の子どもへの接し方学習支援の方法などとても勉強になります。 ・大変よくしてくださり、とても感謝しております。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。